

# のほへつ

●No. 440 ●昭和62年6月1日発行



登別温泉の観光名所、大湯沼一帯が展望公園として整備されました。

これは、市が約580万円の事業費で整備を進めていたもので、凸凹の地肌がアスファルトの駐車場に生まれ変わり、大湯沼側には木製のサクとともに展望所が設置されました。また案内板と丸太材を使ったトイレも設けられるなど、イメージを一新しています。

登別温泉の61年度宿泊客は、113万6千人余りで史上最高を記録し、総観光入り込み客も300万人に迫っています。

大湯沼を訪れる観光客の皆さんも、大幅に増えるものと考えられ、新たな魅力を加えた大湯沼の展望公園は、大好評を博しそうです。

# 6.1



# 議長に長堀益久氏を選出

## 副議長には竹村亀吉氏

### 第2回 臨時市議会



副議長  
竹村 亀吉氏



議長  
長堀 益久氏

議会は、冒頭で中浜市長の雇用対策など三期目への決意表明が行われました。続いて議長、副議長の選挙が行われ、議長に長堀益久氏、副議長に竹村亀吉氏が選出されました。

統一地方選挙後初の六十二年第二回臨時市議会が、五月十一日、十二日の会期二日間で開催され、正・副議長や各委員会委員などが選出され、新しい市議会構成が決まりました。

また、任期満了にともなう監査委員が選任されたほか、専決処分をした登別市税条例の一部改正の報告などについて審議されました。

今議会で選任、可決、承認された主な案件についてお知らせします。また、市議会各会派の構成についてもお知らせします。

選された監査委員には、東條康之氏が選任されました。このほか今議会では、専決処分の報告が行われ、昭和六十一年度の一般会計を千百万円減額して、総額百三十二億三千一万八千円とする補正予算が承認されました。

また、日本国有鉄道(株)の民営化に伴い、旅客鉄道(株)と日本貨物鉄道(株)が所有する駅舎、線路施設等の固定資産を、昭和六十四年(七十一年度)までの八年間、固定資産税の課税標準を二分の一にするなどとした登別市税条例の一部改正も承認されました。

各委員会および各会派の構成は次のとおりです。  
敬称略(○は委員長、◎は副委員長)



監査委員  
東條 康之氏



遠藤 実氏



若狭 泰広氏



三浦 忠夫氏



阿久津 一郎氏



山本 茂治氏

各会派の構成(○は会長、◎は幹事長)

〔民主政治クラブ〕七名  
◎宮武克安、○東條康之、上村秀雄、内山俱一、佐藤紀彦、阿久津一郎、沼田一夫  
〔市民クラブ〕六名  
◎畠山春雄、○佐々木一、長堀益久、三浦忠夫、岡田司郎、上田健三  
〔清新クラブ〕六名

◎篠原孝明、○山本茂治、竹村亀吉、水口竹夫、渡田勝、松山哲男

〔観光経済常任委員会〕七名  
◎遠藤実、○中野照美、松山哲男、佐々木一、山本茂治、内山俱一、上村秀雄

〔建設常任委員会〕七名  
◎若狭泰広、○渡田勝、岡田司郎、佐藤紀彦、長堀益久、小坂義昭、竹村亀吉

〔民生文教常任委員会〕七名  
◎三浦忠夫、○沼田一夫、西村孝夫、岸正治、渡部雅子、宮武克安、篠原孝明

〔総務常任委員会〕七名  
◎阿久津一郎、○畠山春雄、上田健三、水口竹夫、北林昭市、東條康之、坂本保

〔議会運営特別委員会〕十名  
◎山本茂治、○佐藤紀彦、沼田一夫、渡田勝、佐々木一、若狭泰広、中野照美、畠山春雄、東條康之、小坂義昭

◎中野照美、○渡部雅子  
〔共産党〕二名

〔公明党〕三名  
◎北林昭市、○若狭泰広、西村孝夫

## 送電線にご注意を

北海道電力(株)から

現在、北海道では、約四万四千基の送電塔が立ち、七千三百以上の送電線が張りめぐらされています。

この送電線は、各家庭を結ぶ配電線と違い非常に高い電圧のため、触れると大きな事故につながります。最近では建設建築工事の機械化、大型化が進み、クレーンなどが送電線に触れたりする事故が増えています。

このような接触事故は、作業者の感電事故につながるほか、広範囲にわたる停電などをもち、社会的影響も大きなものとなっています。

このため、送電線の近くで工事する場合は、北海道電力社員が無償で立ち会いますので、最寄りの北海道電力(株)の事業所へ連絡してください。





# 大災害の教訓を忘れずに 自主防災組織を設立

## 登別連合町内会

「五十八年の災害のとき、市と連合町内会、連合町内会と住民の連絡体制は、必ずしも十分ではなかった。災害の未然防止と、発生時の適切な対処方法などを日頃から心掛ける必要がある。」（石川政春 登別連合町内会々長）

四月三十日、登別市内では初めての自主防災組織が登別地区で設立されました。

一夜に五百ミリ以上、一時間当たり百六十二ミリもの集中豪雨で、総額六十六億円の被害を出した五十八年九月の大災害は、まだ記憶に新しいところで、この大災害の反省の中で、

地域ごとの情報伝達の正確さや、相互の協力の必要性などの指摘があり、五十九年度の市政懇談会でも被災地を中心に論議されていました。

雨の多い登別市で、災害の再発生がないとはいえず、市では防災計画の大幅な見直しを行う一方で、市民に防災意識の高揚を訴え、地域ごとの自主防災組織づくりを呼びかけてきました。

「万一に備えて地域としての連絡体制の整備や訓練は欠かせない」として、この呼びかけに名のりを上げたのが、五十八年災害で大きな被害を受けた登別地区です。七つの町内会で構成する登



58年9月、登別地区を襲った豪雨災害の被害状況。  
この災害を教訓として、自主防災組織が設立されました。

別連合町内会が中心となって、六十一年秋から市が協力する形で組織づくりを始め、今回「登別地区自主防災組織」として設立されました。

自主防災組織の重点として、警戒、避難勧告など行政からの伝達や、被害状況など地域から行政への通報の両面を備えた連絡体制の確立と、日常

# 第四期生も就職決定率一〇〇%

## 日本工学院北海道専門学校

日本工学院北海道専門学校では、今春卒業の第四期生のうち、就職希望者全員の就職が決定しました。

今春の同校に対する企業からの求人状況をみると、企業数で五千九百五十四社、求人数で一万余七人となっており、就職希望者四百三十四人に對する有効求人倍率は実に三十六・九倍にも昇っています。この中で注目すべきことは、求人企業の中に上場企業や大手企業などの一流・優良企業が多くあることであり、これらの企業への就職は一流大学卒と遜色のないものとなっています。

一方、今春の就職決定者を職種別にみると、過去三期の卒業生と同じ九十八社が、同校で学んだ知識、技術をそのまま生かせる職場に専門職と

的な訓練などを考えています。

市では「登別地区自主防災組織」をモデルケースとして、各地域に自主防災組織の設立機運が高まるよう働きかけていきます。

地域の皆さんも、自分の命と財産は自分で守るの原則に立って、町内会活動等の中で自主防災組織の設立について、真剣に取り組んでくださるようお願いいたします。



登別地区自主防災組織の設立総会から

して決定しています。

また、就職決定者を地区別にみると、道内企業に三十一社、道内関連企業に二十七社、道外企業に四十一社となっており、道内企業に約六十六社が道内に就職が決定しています。

同校の就職卒の良さは、ハイテク、ニューメディア時代に対応した多様なカリキュラムをこなした即戦力が企業のニーズに合った結果といえます。同時に、就職相談センターを設置して、万全の就職指導体制をとつてい

ます。

就職決定100%を報じる学院  
ニュース

るからにほかなりません。もう既に、来春の卒業生を対象に多くの企業から引き合いがきています。同校生への期待はますます高まっているようです。

# 捜査活動にご協力を

室蘭警察署から

犯罪の捜査は、市民の皆さん一人ひとりのご協力によって支えられています。犯罪を見たり、聞いたりして知っていることは、どんなに小さなことでもお知らせください。

- 事件の発生を知ったら、すぐ一〇番
- 被害にあったときは、必ず届出を
- 犯罪について知っていることは、積極的に通報を

協力いただいた方には、ご迷惑をかけることのないよう十分配慮してまいりますので、見たり、聞いたりしたことは是非お知らせください。





# 心あたたか まっくら木会



(登別高3年)による  
のほのとしたこのイ  
記念品に焼印されま



当市はバドミントン競技  
の開催地



8月1日～6日

# 62 全国高等学校総体

総体の開会まで、あと2ヵ月。  
PTAの協力で、市内3ヵ所に看板を  
立てました。これで、歓迎ムードを盛  
り上げます。

各都道府県で高校総体（通称インターハイ）  
が開催される確率は四十七分の一、約五十年  
に一度の巡り合わせです。  
しかし、高校スポーツの祭典とも言えるこ  
の大会が、とうとう北海道で開催されること  
になりました。当市ではバドミントン競技が  
開催され、八月一日からの六日間、熱戦が繰  
り広げられます。

## 大会の開催まで

### あと二ヵ月です

高校総体は、高校教育の一環とし  
て、技術の向上とアマチュアスポー  
ツ精神の高揚、健全な心身の育成と  
親ぶくを図ろうとするものです。  
選手は全国の各都道府県を代表す  
る高校生で、今回の大会には監督、  
役員など含めて約二万八千人が参加  
します。

「はばたけ若人、北の大地に」を  
テーマとしたこの大会は、八月一日、  
札幌市の厚別総合運動公園で総合開  
会式が行われ幕開けとなります。そ  
して、翌日からの六日間、道内二十  
五市町村の各会場で三十一種目の競  
技が繰り広げられ、当市もバドミン  
トン競技の開催地として参加選手、  
監督、役員の方を歓迎することにな  
りました。

ろうと呼びかけ、協力校の生徒や同  
校の生徒から十七点の作品を集めま  
した。作品は、先生、生徒の手で増  
刷され、市内の公共施設などに貼ら  
れました。

そして五月、この応募作品の中か  
ら、横山由紀さん（登別南高3年）  
の作品「躍動する二人の選手」と川  
島利枝さん（室蘭商業高3年）の「羽  
根」の図案を組合わせた躍動感ある  
ポスターをB3判のサイズで四千枚  
印刷しました。

このポスターは、黄色の地に緑、  
紺、赤、黒を配したカラフルな仕上  
がり。市内の公共施設、商店、ホテ  
ル、旅館などに配付され、大会ムー  
ドを盛り上げるほか、大会プログラ  
ムの表紙、テレフォンカードの図案  
に使用されるなど、その効果が期待  
されています。

## 大

会では、一日六百五十人の生徒  
（延べ三千人）が大会の運営に  
あたります。

仕事は、会場設営、広報、写真、  
記録、受付、案内、救護、接待、進行  
揭示、掃除など全部で約三十種類に  
も及び、大会が開催される暑い八月  
の熱気の中では、いっそう大変な仕  
事になります。

しかし、全国の高校生と交流がで  
きる。素晴らしい試合をみることで  
できる。そして、なんととっても思  
い出になるということで、多数の生  
徒から仕事への応募がありました。

ただ、すべての仕事当日、いき  
なりできるというものでもありませ  
ん。なかでも放送（アナウンス）、ラ  
インズマンなどは、事前に十分な打  
ち合わせや練習が必要です。

大会まであと2ヵ月、舞台を支え  
る高校生の活動も熱を帯びてきま  
した。



メイン会場となる日本工学院専門学校体育館



横山由紀さん（登別南高3年）と川島利枝さん（室蘭商業高3年）の図案を組み合わせたバドミントンの種目別ポスター。



古川満裕くん熊のイラスト。イラストは、白樺のす。

大会の式典、表彰式などのアナウンスも地元高校生徒が担当。大会を間近にして、練習にも熱が入ります。



## 手作りの心で 大会を盛り上げよう

参加選手は約二千八百人、会場は日本工学院北海道専門学校校の体育館をメイン会場に、幌別西小学校、幌別小学校、登別大谷高校、総合体育館の各会場で行われます。大会まであとわずか、今、この大会を開催するための準備が市や室蘭地区バドミントン協会、登別南高を中心に着々と進められています。

大会の実質的な運営は市、実際の競技運営は室蘭地区バドミントン協会があたります。そして、担当校となった登別南高校では、登別高校、登別大谷高校、室蘭商業高校、室蘭啓明高校の協力を得ながら、ピアー活動、歓迎活動そして当日の大会運営にあたります。

しかし、大会を成功させるために必要なのは、なんといっても歓迎する側の心あたたかな気持ちです。選手ばかりでなく、自分たちもこの大会に何かの形で参加し、いい思い出を作りたいという登別南高校と各協力の生徒。今、生徒の作品によるポスターや記念品作り、また大会当日のアナウンス練習など、教師、生徒が一丸となって準備に取り組んでいます。

### ポ

スターは大会のシンボル。ピールや歓迎活動などに使われ、選手の中には記念として持ち帰る人もいます。今大会の担当校である登別南高校では、ポスターを自分たちの手で作

### 記

念品は、大会に参加する選手、監督、役員の方へのプレゼント。これもポスター同様、高校生の手作りによるものです。

製作の順序は、白樺の木を輪切りにし、切り面に砥の粉をかけ、ラッカーを塗るなどして、表面に古川満裕くん（登別高3年）によるデザインを焼印します。そして裏面に生徒一人ひとりの手で歓迎の言葉を書いて出来上がり。

デザインは、愛きょうたつぷりの熊がバドミントンのプレーをしているというもので、素材、デザインとも北海道らしく、裏面には心あたたまる言葉があるというものです。

登別南高校と協力校では、この記念品を約三千個作る予定にしており、裏面の歓迎の言葉は、一人一役運動としてたくさんの方の高校生に書いてもらうよう呼びかけています。

## 地元選手の活躍に 皆さんの応援を

バドミントンは、羽根とラケットさえあれば、誰でも気軽に楽しめるスポーツです。登別では、64団体ムードに合わせるかのように数年前から競技人口が増えてきました。そして、その中で育ってきたのが、今大会に意欲を燃やす登別の高校生選手です。

しかし、この高校総体に出るためには、地区予選、道予選に勝たなくてはなりません。登別では、部員全員が全道レベルの実力をもっていきという登別南高校の選手が、出場を目指して密度の濃い練習をこなしています。

この大会は、地元選手の活躍がなんととっても楽しみの一つ。地元選手に皆さんの絶大は応援をお願いします。



登別南高校バドミントン部練習風景



# 家族で本に親しもう

## 登別市立図書館



市立図書館は、大人から子供まで気軽に来館できる身近な施設です。移動図書館車こぐま号も、水曜日から金曜日まで巡回し、サービスに努めています。

市立図書館の蔵書冊数は約七万八千冊。ちなみに六十一年度では約十四万冊の貸し出しがあり、登録者数は約六千二百人を数えました。

最近、活字離れの風潮にあるなどと言われますが、たった一冊の本が読む人の心の糧となる場合もあります。日曜日も開館していますので、ぜひご家族でご利用ください。

〈初めて本を借りる方へ〉  
○借りられる方：市内に居住、または通勤、通学している方。  
○手続き：小学生以下は一階児童

室で、中学生以上は二階で登録の手続きをして、貸出券の交付を受けてください。貸出券は、毎年四月に更新します。

### 新着図書案内 市立図書館 ⑤4324



流亡(西村望) 死海の伏流(森村誠二) 旅の終りに(五木寛之) 警

察の醜い断面(喜多正次) 世界が見える日本が見える(大前研一) センチメンタル・マシーン(楠田枝里子) 民族音楽、出会いの旅(江波戸昭) 雲のはしを望みつ(阿部光子) 恋文三十年(佐木隆三) 広島に原爆を落とす日(つかこうへい) 世界一周子連れ航海記(迫正人) カンボジアの24色のクレヨン(柳原和子) 朝をください(浅井瀧) リハビリの友へ(柴田哲夫) 男の肖像(塩野七生) 美しき旗手たちの語録(吉田直哉) 活力の構造・開発篇(柳田邦男) 食わせろ(景山民夫) ところで聴く(田中のり子) 義経幻殺録(井沢元彦) 双頭の蛇(栗本薫) 漂泊の楽人(内田康夫) ニューヨーク・シティ・マラソン(村上龍) 秘密(池波正太郎) 白昼の迷路(三好徹) 知らぬ戦場(長部日出雄) 空想茶房(安野光雅) ルポ仏教(佐藤健) 平塚らいてう(井手文子) 革命家チャンドラ・ボース(稲垣武) 昭和史への一証言(松本重治) 非国民のつくり方(赤塚行雄) 東京路上探検記(尾辻克彦) ニッポン靴物語(山川暁) 虎口からの脱出(景山民夫) もうひとつの教室(加賀谷真由美) 健やかないのちのデザイン(日野原重明) 看護病棟日記(宮内美沙子) ルバシカを着て生まれてきた私(岡田嘉子) 花沢徳衛の恥は書き捨て(花沢徳衛) クリヴィイキー症候群(逢坂剛) 今日がいちばん若い日(重兼芳子) ぼくたちの時代(田中康夫) 気が向いたら風になって(渡辺一枝) 思春期ときめきヒジヨシキ(矢崎藍) フェアウェイのギャングたち(伊佐千尋) 自然連縛(加藤幸子) A面B面(阿久悠) シルバール族海を渡る(加藤仁) 浪花ままごと(田辺聖子) 六〇年安保(西部邁) 危機の家庭(吉武輝子) ヒラヒラ文化批判(奥平康弘) 佐々成政(遠藤和子) 北京収容所(佐藤亮一) 中国女性事情(張辛欣) 行き止まりの殺意(赤川次郎) ビッグフットの大きな靴(千刈あがた) 今朝もまた夢(笹沢左保) 妻のぬくもり蘭の紅(折笠智津子) 喜屋武マリーの青春(利根川裕)

## 勲五等双光旭日章を受賞

日野謙一さん



大正15年3月に幌別郡登別尋常高等小学校に奉職し、昭和43年3月に幌別郡登別町立カルルス温泉小学校を退職するまでの43年間、学校・家庭・地域の連携の心を生み育てる教育を实践され、町内・管内教育の伸展に大きく貢献されました。今回の表彰は、この永年の功績をたたえ、授与されたものです。

## 厚生大臣特別表彰を受賞

渋谷 大一郎さん



昭和31年12月に民生児童委員になられて以来、現在までの約30年間、地域住民の生活相談、生活困窮者の援助・自立更正に尽力されました。今回の表彰は、この永年の功績をたたえ、民生委員制度創設七十周年の記念表彰として授与されたものです。

## 厚生大臣特別表彰を受賞

宮城キエさん



昭和40年12月に民生児童委員になられて以来、61年11月までの21年間、地域住民の生活相談、生活困窮者の援助、自立更正に尽力されました。今回の表彰は、この永年の功績をたたえ、授与されたものです。



## 公民館講座のご案内

市教育委員会では、文化、教育、健康など幅広く講座を設けています。6月も次のとおり各種講座を行いますので、お気軽にご参加ください。

(※いずれの講座も市内に居住する方が対象で、6月5日から一斉に申し込みを受け付けます。また、定品になり次第、締め切りますのでご了承ください。)

市教育委員会主催

講座名・講師	内容・日時	場所・定員・受講料	用意するもの・申込み問合せ先
レクリエーション・ダンス教室	●ベアを相まぜ一人で踊れるマンボ、ドドンパ、ディスコ、レクリエーションダンス	●警別公民館 ●30名 ●無料	●運動のしやすい服装、タオル、靴 ●警別公民館 TEL⑧8823
●登別レクリエーション協会会員	●6月12日、18日、19日、26日、27日/午前10時～正午		
初心者洋服教室	●楽しみながら短時間で製作できる洋服、手軽にできるスカート	●警別公民館 ●20名 ●無料	●筆記用具、スカートに出来る様な布地、洋服道具一式50センチのものさし ●警別公民館 TEL⑧8823
●福島敬子さん	●6月15日、22日、29日、7月6日、13日/午前10時～正午		
手づくり袋物教室	●縫って楽しく、使ってステキなレジャーバック、ポシェット、小物入れなど、	●市民会館 ●20名 ●教材費として2千円(布地を含む)	●ものさし、ハサミ、鉛筆、木工用ボンド ●市社会教育課 TEL⑧1100
●西川道子さん	●6月15日、17日、19日、22日、24日/午前10時～正午		
シェイプ・アップ教室	●健康を保つための柔軟体操、エアロビクスを取り入れたシェイプ・アップ	●警別公民館 ●市内に居住する方/30名 ●無料	●スポーツタオル、運動のしやすい服装 ●警別公民館 TEL⑧8823
●岡 洋子さん	●6月17日、24日、7月1日/午前10時30分～正午		
母と子のリズム遊び教室	●親子が一緒に体を動かしながら楽しく育って、活発な子供を育てることを目的に行います。(親子のリズム運動、走る・歩く・止まるなどの基礎運動、ボール遊び、ハンカチひも遊び、親子ストレッチなど)	●市民会館 ●2歳6ヶ月から就学前の子供とその母親/30組 ●無料(ただし、傷害保険料として一人50円がかかります)	●動きやすい服装、タオル、(運動は素足で行います) ●市社会教育課 TEL⑧1100
●新田恵子さん(幼児体操指導員)	●6月18日、20日、25日、27日、29日/午前10時～正午		

## 女子ソフトボール

### 道民スポーツ大会予選

市教育委員会では、今年豊浦町で行われる道民スポーツ大会女子ソフトボール競技の登別予選大会を開催します。多数ご参加ください。

▽日時 6月21日(日)午前8時30分から開会式

▽場所 市営日の出野球場

▽対象者 市内に居住する女性の方で、大学生と全国大会の出場

経験者を除く(ただし、35歳以上の方はこの制限をしません) チーム 一チーム14名(監督、マネージャーを含む)

▽試合方法 トーナメント方式で日本ソフトボール協会競技規則を準用します。また、グラウンドルールについては、後日、監督会議で決定します。

▽申込み方法 所定の申込み用紙に必要事項を記入し、6月17日(水)まで総合体育館に提出してください(申込み用紙は総合体育館にあります)

## 第四回・少年の主張大会

「少年の主張大会」では、少年が日ごろ考えていることを広く皆さんに発表します。

市内の中学生男・女十四名が、家庭や学校、地域で体験したこと、純粋な気持ちで主張します。皆さん多数のご来場をお待ちしています。

## 少年の主張



なお、この大会の最優秀者一名が当市の代表として、胆振支庁大会に推せんされます。

▽日時 6月12日(金)午後1時から

▽場所 市民会館

▽入場料 無料

▽問合せ先 市社会教育課(TEL⑧1100)

※少年の主張胆振支庁地区大会は、7月8日(水)午前10時から当市の市民会館で行われます。

小学生と婦人を対象に

## 水泳教室を開催

市教育委員会では、次のとおり小学生(高学年)水泳教室と婦人水泳教室を開催します。ご参加ください。

▽日時 6月16日から27日までの日、月曜を除く毎日(計10回)

○小学生水泳教室：午後4時～5時

○婦人水泳教室：午後1時30分～3時30分

▽費用 スポーツ傷害保険料として、小学生350円、婦人600円

▽申込み方法 所定の申込み用紙に必要事項を記入、捺印のうえ6月12日まで市民プールに提出してください(申込み用紙は、市民プールにあります)

▽用意する物 水着、ブルキヤップ、バスタオル

▽問合せ先 総合体育館(TEL⑤552)

※以前に受講された方は、今回ご遠慮願います。また、定員をこえた場合は、6月13日、午後2時から労働福祉センター2階ホールで公開抽せんを行います。

▽日時 6月11日、12日、18日、19日、25日、26日(計6回)

▽時間 午後6時30分～8時30分(受付は午後6時から)

▽場所 労働福祉センター

▽受講料 千円

## 能楽の仕舞講習会

登別市文化協会謡曲部では、能楽の仕舞講習会を次のとおり開催します。ご参加ください。

▽日時 6月15日から8月31日までの毎週月曜日/午後1時～4時、午後6時～9時のいずれか

▽場所 警別公民館

▽テキスト代 3千5百円

▽流儀・教師 観世流、能楽師・伊藤正男氏

▽申込み・問合せ先 伊藤宅(TEL③2537)

※なお、参加者は白タビをご用意ください。

登別地区レクリエーション・ダンスサークルでは、会員を募集しています。

## 社交ダンス 初心者講習会

登別社交ダンス愛好会では、初心者を対象に次のとおり講習会を開催します。

▽日時 6月11日、12日、18日、19日、25日、26日(計6回)

▽時間 午後6時30分～8時30分(受付は午後6時から)

## レク・ダンスサークル

レク・ダンスは、ベアを相まぜ軽快なリズムに乗って一人で踊れるダンスです。お気軽に参加して、心身ともリフレッシュしてみたいかがでしょうか。

▽例会日 毎月4回程度(初回は6月18日/午前10時～正午)

▽場所 婦人センター

▽会費 3カ月で千円(6月18日にご持参ください)

▽定員 百名

▽用意するもの 上靴、動きやすい服装

▽申込み方法 6月5日から婦人センターで受け付けます。ご希望の方は、電話で申し込みください(TEL③3511)

▽問合せ先 野呂弘子さん(TEL③2853)



市民の目

シンボルマーク



62年全国高校総体をみんなの力で成功させよう

スローガン

# はばたけ 若人 北の大地に

バドミントン競技会場 登別市  
大会期間 昭和62年8月1日～6日

## ふれあう心の合言葉

一、教養をつみ視野を広げて平和で文化のかおり高いまちをつりましょう。

## 人間関係のトラブル

### ご相談は人権擁護委員へ

人権擁護委員制度をご存知ですか。六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。憲法第十一条では「基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として国民に与えられる」として、私たちすべてが生まれながらに持っている人間としての基本的な権利を保障しています。

市内には、法務大臣が委嘱した次の五人の人権擁護委員がいらっしやいます。相談は無料で秘密は固く守られます。

- ▽鹿内正敏 登別温泉町30(TEL 23114)
- ▽勝間一郎 登別東町2-26(TEL 31005)
- ▽赤塚幸吾 常盤町3-9(TEL 53829)
- ▽多田 弘 富士町6-27(TEL 52837)
- ▽星 番 新生町5-20(TEL 8286)

## 3カ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程 6月25日：警察公民館(警察別地区)

6月26日：鉄南ふれあいセンター(幌別地区)

▽受付時間 正午～午後12時15分

▽対象児 62年3月出生児

▽用意するもの 母子健康手帳、パスナール

※神経芽細胞腫(小児がんの一種)の検査セットを同時に配付いたします。

## 水道メーターの保管にご注意を

(TEL 0143-446738)

ご家庭などで使用されている水道メーターは、市の所有物で無償で貸付けを行っています。このメーターを亡失、き損された場合は、市の条例により損害額を弁償しなければなりません。家屋の増改築や解体工事などを行う場合は、事前に市の指定給水工事業者に依頼し、メーターの移設または撤去を行ってください。

## 巡回児童相談

北海道室蘭児童相談所は、子供の問題をかかえる方の相談に応じたいです。巡回児童相談を次のとおり行いますので、お気軽におこ

## 特設人権相談

札幌法務局室蘭支局と室蘭人権擁護協議会では、特設人権相談所を開設します。

人権問題、借地、借家、金銭貸借、登記、戸籍、家族の問題など日常生活でお困りの方は、お気軽にご相談ください。(秘密は固く守られます)

▽日時 6月24日(水)午前10時～午後3時

▽場所 鉄南ふれあいセンター

▽相談員 札幌法務局室蘭支局担当官、人権擁護委員

▽問合せ先 札幌法務局室蘭支局

## 不用品ダイヤル市



52111  
内線257

おわけします(売り)

シングルベット、ダブルベット、ベビーラック、ベビーカーシート、カラーテレビ(20インチ)、洗濯機、自転車(16、20、22インチ)、三輪車(子供用)、スキー板(金具付150cm)、オルガン、ポット式石油ストーブ、ホームタンク(400ℓ)、タイヤ(615-13、165-104)、椅子式アンマ器

ゆずってください(買い)

下駄箱、整理タンス、ベビーカー、ベビーカー(2人用)、コタツ、冷蔵庫、トースター、自転車(12、14、18インチ)、剣道防具一式、ピアノ、ミシン、子供用スベリ台(屋外用)

## 市民会館で 豊岡 豊と スイングフェイス & 牧村三枝子 コンサート

市教育委員会では、登別市出身で現在、バンドマスターとして活躍している豊岡豊氏と彼のバンド、そして牧村三枝子さんのコンサートを次のとおり開催します。

▽日時 6月7日(日)開場・午後6時、開演・午後6時30分

▽場所 市民会館

▽入場料 前売2千500円、当日2千800円(全席自由)

▽問合せ先 市民会館(TEL 1100)

## 山開きのご案内 来馬岳二、〇四〇メートル

登別の山々も山開きの季節をむかえました。登別山岳会では、来馬岳の山開きを次のとおり行います。皆さん多数ご参加ください。

▽日時 6月14日(日)午前9時

▽集合場所 カルルススキー場駐車場

▽対象者 小学生以上の健康な方

▽用意するもの 雨具、昼食、水筒、軍手、おやつ

※なお、当日は雨天でも決行します。お問い合わせは、河村勝さんへ(TEL 2069)

## 自動車税を納めましょう

自動車税の納期限は、6月1日となっています。お忘れの方は、必ず納めましょう。

なお、納税通知書が届かないときは、胆振支庁自動車税係にご連絡ください。(TEL 0143-22-9131)

